

作業プロセス:



トヨタ8Y7ベースコートのボカシ塗装
(スタンドブルー®ベースコート)

素地:

- ・補修箇所の準備は(塗装仕様S3)を参照

前処理 /
クリーニング:

- ・補修箇所をP800-P1000で研磨、そして研磨用パッドでパネル全体を足付け処理



Standox® 塗装仕様S1素地準備情報を参照

塗装:

- ・カラーブレンド塗装
 - ・ボカシ範囲に5% Standoblue® ハードナー8550を混合したStandoblue® カラーブレンド8570/8580を塗装
- ・グランドコートボカシ塗装
 - ・Standoblue® ベースコート8Y7グランドコートに5% Standoblue® ハードナー8550と20% Standoblue® ビスコシティアジスター8510/8520を混合
 - ・グランドコート1コート目を最終塗装範囲までボカシ塗装
グランドコート2コート目を1コート目の内側にボカシ塗装

乾燥:

(Standoblue® ベースコートTDS
に従う)

- ・強制乾燥60-65°C × 10-15分
- ・タッククロスでオーバーミストを丁寧に除去する。

塗装:

- ・カラーブレンド塗装
 - ・ボカシ範囲にStandoblue® カラーブレンド8570/8580を塗装

* 次ページに続く

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

作業プロセス:



トヨタ8Y7ベースコートのボカシ塗装
(スタンドブルー®ベースコート)

塗装:

- ・ ミッドコートボカシ塗装
 - ・ Standoblue®ベースコート8Y7ミッドコートに20% Standoblue®ビスコシティアジャスター8510/8520を混合
 - ・ ミッドコート1コート目をグランドコートの塗装範囲を超えて最終塗装範囲までボカシ塗装
 - ・ ミッドコート2コート目を1コート目の内側に塗装(グランドコートを超えている事)
 - ・ 艶が完全に消えるまでフラッシュしタッククロスでオーバーミストを丁寧に除去
- ・ クリヤー塗装(1コート目)
 - ・ 使用するクリヤーコートのTDSに従いハードナー、シンナーを混合
 - ・ 通常クリヤーをボカシパネル外側からミッドコートを若干超えて塗装
- ・ カラークリヤー塗装(1コート目)
 - ・ Standocryl®2Kクリヤー類及びStandocryl®VOCクリヤー類にKA681クリヤーコートアディティブを混合(クリヤー:KA681=98:2)しTDSに従いハードナー、シンナーを混合
 - ・ 続けてカラークリヤー1コート目をミッドコート塗装範囲を若干超えてボカシ塗装し先に塗装した通常クリヤーに馴染ませる
使用したクリヤーのTDSに従いフラッシュ
- ・ カラークリヤー塗装(2コート目)
 - ・ カラークリヤー2コート目を1コート目の内側にボカシ塗装
グランドコートのボカシ範囲を若干超えること
- ・ クリヤー塗装(2コート目)
 - ・ 続けて通常のクリヤー2コート目をボカシパネル外側からカラークリヤー2コート目のエッジ部分迄塗装し馴染ませる

乾燥:

- ・ 使用したクリヤーのTDSに従いフラッシュオフし乾燥

* 次ページに続く

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」

作業プロセス:



トヨタ8Y7ベースコートのボカシ塗装
(スタンドブルー®ベースコート)

サンディング:

- ・乾燥, 冷却後にP1000より細かい番手で足付け研磨を行う

塗装:

- ・ クリヤー塗装(最終仕上げ) ・ パネル全体にセルフリストアリングクリヤー対応クリヤーコートを塗装

乾燥:

- ・ クリヤーのTDSに従いフラッシュオフし乾燥

重要ポイント:

- ・ グランドコートとミッドコートは配合済みパッケージカラーとなります
- ・ グランドカラーの過度なオーバーミストは避ける
- ・ ミッドコートは3コートパールカラーのパールベースの塗装要領で塗装
- ・ 以下クリヤーの工程は全て同じクリヤーを使用する
 - ・ カラークリヤー塗装(1コート目/2コート目)
 - ・ クリヤー塗装(1コート目/2コート目)
- ・ カラークリヤーは通常よりもスプレーガンの距離を離し均一に塗装
- ・ カラークリヤーのボカシ塗装はトリガーを常に握った状態で弧を描くように塗装
- ・ クリヤー塗装(1コート目/2コート目)はカラークリヤーのボカシ部分を均一に馴染ませ肌を平滑にする
- ・ カラークリヤーはベースコート塗装範囲まで塗装する
- ・ 色相に影響が出る場合があるのでカラークリヤー乾燥後の中研ぎは研磨し過ぎない

「上記データは、本書発行日現在の弊社の知識及び経験に基づき弊社の製品とその使用方法に関する情報を提供するもので、特定の性質、品質仕様、具体的な使用目的に関する適正、又は塗装仕上がり具合を保証するものではありません。更に、上記データは指定された材料にのみ該当するものであり、他の材料又はプロセスと組み合わせて使用する場合にはこの限りではありません。尚、実際に塗装をする際には、その塗装時の環境等の様々な要因が塗装仕上がりに影響を与めますので、使用目的毎に必ず事前に試験塗装等を行い、適切な使用方法につき確認を行ってくださいようお願い致します。弊社においては、弊社製品を用いた塗装結果について一切の責任を負いかねます。」